

令和7 年度

日高地区校長会

事務局 平取町立平取小学校

日高地区校長会は、管内7町、小学校22校・中学校14校の校長で組織されている。今年度は新会員として採用校長5名を迎え、4月10日の第1回理事研修会から新年度役員体制のもと活動を開始した。



令和6年度管内校長研修会より

I 本年度の活動方針

日高地区校長会は、結成以来、日高管内教育の充実・発展のため、管内教育諸課題の解決と教育の質の向上を目指し、関係機関・団体と連携を深めながら活動を行い、一定の成果をあげてきた。

日高管内全体の児童・生徒の数の減少、学校統合による会員数の減少が続き、組織体制の改革や様々な教育課題解決に、会員一丸となって取り組む必然性が高まっている。校長会員相互が積極的に情報を交流、発信し課題を共有する中で、建設的な議論を交わし、日高管内各学校の学校運営がより組織的になり、若い人材がよりよく育つ環境の実現を目指し、積極的な活動を展開することが重要と考えており、日高の課題である「学力向上」と「組織力向上」を研修活動の柱として取り組んでいく方針を立てた。

また、昨年度は1年間かけて教育局とともに「人材育成プラン」を作成し、今年度はそれらを実践していくこととしている。

令和7年度は、これまで以上に道小・道中、管内教育関係機関・団体との関係を重視し、情報発信・収集を双方向に行い、当事者意識を高く持ち課題を共有していきたい。

II 活動の重点

1 ビジョンを明確にした学校経営の推進

- ① ミドルリーダーを活用した校内組織体制の確立
- ② 教育活動の充実に向けた業務の適正化・効率化

- ③ 法令順守に基づく服務規律の厳正な保持の徹底
- ④ 危機管理体制の確立

2 社会に開かれた教育課程の実施

- ① 学習指導要領の趣旨・ねらいを実現する教育課程の編成・実施
- ② 育成を目指す資質・能力を踏まえたカリキュラム・マネジメント
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた ICT 機器の活用

3 教職員の資質能力の向上と後継者育成

- ① 教職員のキャリア段階に応じた研修の推進
- ③ 管内教育関係機関・団体等との連携強化
- ④ 関係機関と連携した後継者育成

4 校長としての職能向上と組織体制の強化

- ① 町校長会および会員相互の情報の共有および連携強化
- ② 地区校長会の研究・研修体制の改善と充実
- ③ 研究大会への積極的参加と提言に向けた組織的な取組の推進
- ④ 教職員の待遇改善にかかわる要望活動の推進

Ⅲ 各部の活動方針

1 研修部

<基本主題>

自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す学校教育の推進

<研究の視点>

①『学力向上』の実現に向けた校長のリーダーシップ

- ・資質・能力の確実な定着を目ざす授業改善
- ・全国調査やチャレンジテスト等の有効活用
- ・小中連携の取組

②『組織力向上』の実現に向けた校長のリーダーシップ

- ・参画意識を高める組織マネジメント
- ・キャリアステージに応じた人材育成
- ・今日的課題を踏まえた取組

2 法制・広報部

<基本方針>

当面する学校経営上の諸問題を解決するために、道小・道中と連携した研究会の運営に当たるとともに、会員のニーズに応じて必要な情報を提供し、校長としての職能の向上並びに地区校長会としての連携意識の高揚と組織の強化に努める。

3 調査・厚生部

学校経営に必要な調査を道小・道中と連携しながら積極的に実施し、情報の共有化を図る。

福利厚生については、主体的な研修を深め、厳しい共済制度に対するの展望に立った支援を進めていく。

Ⅳ 役員

<地区校長会役員>

会 長	小嶋 範彦 (富川小)
副 会 長	玉手 広昭 (浦河小)
〃	中田実千代 (三石中)
監 査	鈴木 眞一 (三石小)
〃	石郷岡 卓 (日高中)
事務局 長	木田 理博 (平取小)
事務局次長	佐藤 正寿 (様似小)
〃	佐藤 裕哉 (高静小)
会 計	高杉 省一 (門別中)
研修担当	佐藤 裕哉 (高静小)
	佐藤 恵美 (様似中)
法制・広報担当	飯塚 俊郎 (静内三中)
	鹿海 圭吾 (笛舞小)
調査・厚生担当	後藤祐美子 (紫雲古津小)

<道小各部門担当者>

道小 理 事	佐藤 正寿 (様似小)
経営担当者	松田 陽一 (静内小)
研修担当者	遠山 昌志 (二風谷小)
対策担当者	柏原 浩之 (振内小)
情報担当者	吉田 貴弘 (えりも小)
会計担当者	高杉 省一 (門別中)
総会代議員	木田 理博 (平取小)



令和6年度管内校長研修会より